

シリーズ ① 進化するテレコム企業

「Net Events 2010」から

世界の主要テレコム関連企業のトップが一堂に会し、市場の最新動向や共通課題、技術展望について議

論する「ネットイベント2010ーグローバル・プレス・サミット」が5月20日、21日の両日、シンガポールで開催された。本シリーズでは、同サミットに参加した通信アナリストの市場分析およびテレコムベン



スニール・ジョシ氏

タタ・コミュニケーションズ

の大手通信事業者であるタタ・コミュニケーションズが、自社の優位性をアピールした。

インドのタタ・コミュニケーションズは、多国間企業向けに

業向けの多地域型テレビ会議接続サービス基盤「グローバル・ミーティング・エクスチェンジ(GME)」を構築。テレプレゼンスサービスの本格的な販売拡大に乗り出した。戦略パートナーとなる各国のグローバル通信キャリアと提携し「プラットフォーム」を提供

するホテルセール展開に加え、国際的なホテルチェーンとの提携により、時間帯で貸し出す「パブリックルーム」の開設を急ぐ方針だ。

タタ・コミュニケーションズは09年4月、米シスコ社のテレプレゼンス向けにサービス基盤となるGME

を提供すると発表。シスコのテレプレゼンス専用端末に接続するタタ保有施設の「プライベートルーム」および各国通信事業者と提携パートナーと運営する時間帯で貸し出す「パブリックルーム」を世界規模で展開する新戦略を打ち出した。タタのGMEサービス

は、シスコシステムズの関連製品をタタ・コミュニケーションズがサービス化する。ネットワーク関連機器メーカーとSPの戦略的協業で実現したクラウドサービスになる。インド、ムンバイとニューヨーク、ロンドンにある主要な接続ポイント(POP)お

よび世界主要都市にもタタのグローバルMPLS・POPの中に設けられた小規模POPで構成されている。09年11月にアフリカのPDRと提携してニジェールに新設。テレプレゼンス・サービスを同社のグローバルコミュニケーション戦略の目玉サービスとして位

置づけ、世界規模で営業体制を固めていく方針だ。パブリックルームはすでにインドのムンバイ、バンガロール(2カ所)、チェンナイ、ハイデラバード、グルガオン、英ロンドンとホストンに運用中。今夏末には20カ所に創設することとしている。

サービスメニューとして、企業内に機器を構築してサービスが利用できる「プライベートルーム」、ホテルなど施設でビジネスマンが利用できる「パブリックルーム」を揃える。一番の売りは、「プライベートルーム」を導入した企業が「パブリックルーム」に

テレプレゼンスが本格化 クラウドサービスの主流に



5月19日のプロバイダ・サミット会場のもよう

サービスを提供する。この際、クラウドサービスは、パブリッククラウドの構築を打ち合わせが可能なことだ。アロバタ・サミットでも、この分野は「パブリッククラウド」が主流になる。クラウドサービスの主流になることを示唆した。